問題番号		問い	2 次方	程式 (-2)(2 -3)=0 を解きなさい。	
	7	正解	= 2	, 3 , 2	
	誤	答	例	つ ま ず き 原 因	分析と解消
1	=	2		AB=0ならば,A=0 または B=0 が 理解できない。	1 9 ページ 【 7 - 1 】
2	=	- 2	, - 3	AB=0ならば,A=0 または B=0 が 理解できるが、1次方程式を解くことができない。	
3	=	- 2		2次方程式(因数分解された)の数 - 2を解答とした。	5ページ 【2-1】
4					
5					

正解の解説

-2=0 または 2 -3=0 だから, =2 または $=\frac{3}{2}$ よって,解は, =2, $\frac{3}{2}$ である。

練習	次の2次方程式を解きなさい。 (1) (- 1)(+ 2) = 0 (3) (2 - 1)(+ 3)		
解答	$(1) = -2, 1$ $(3) = -3, \frac{1}{2}$	` ,	= - 4 , - 3 = 2 , 3

誤答例1のつまずきの分析【7-1】

(-2)(2-3)=0 ならば, -2=0 または 2-3=0 を理解していない。

- ・ に2を代入したら成立したので, = 2 と解答してしまった。
- ・ または,初めの括弧(-2)をみて, -2=0,よって =2 とした。

つまずきの解消

すべての項を左辺に移項して簡単にしたとき,左辺が の2次式になる方程式,つまり,

$$a^{2} + b + c = 0$$

の形になる方程式を, についての2次方程式といいます。

2次方程式を成り立たせる文字の値を,その2次方程式の解といい,すべての解を求めることを,その2次方程式を解くといいます。

2 つの数 A , B について , 次のことがいえる。 A B = 0 ならば , A = 0 または B = 0

2次方程式を解くのに,このことが利用できます。

A = (-2), B = (2 -3) と考えると, (-2)(2 -3) = 0 ならば, -2 = 0 または 2 -3 = 0 がいえます。

文字を使った式の積は、乗法の記号×を省いて次のように表します。

例
$$a \times b = ab$$
 $a \times 5 = 5a$ $1 \times a = a$ $a \times 2 \times b = 2ab$ $(-2) \times 5 = 5(-2)$ $(-2) \times (-3) = (-2)(-3)$